

農業を仕事に

今年4月、JA全農ひろしまの新規就農者向け研修農場「チャレンジファーム広島・上下農場」1期生の林新二さんが、2年間の研修を終えて上下町で就農し、アスパラガスなどを栽培します。また、第2期研修生の谷脇正明さんは、現在就農に向けて研修に取り組んでいます。

次世代の農業を担う、2人の若き農業者にお話を伺いました。

応募のきっかけ

林さん 地元・上下町のスーパーで、青果の販売などを担当していたのですが、仕事で試食をした地元の野菜や果物が美味しくて、農業に興味を持ちました。農協の職員の方に相談をして、たタイミングで、新たにチャレンジファームが開設されることを聞き、参加しようと思いました。

谷脇さん 僕は生まれも育ちも福山市です。昔から農業に興味があり、農業関係

の仕事に就きたいと思っていました。各地の就農制度を見てきましたが、府中市に決めた理由は人です。就農の相談をしたとき、市役所、農協などの方が、「しんどいよ、大丈夫？でも本気なら全力でバックアップするよ。」と声を掛けてくれました。人を育てていくという熱意が伝わり、ここなら頑張れそうだと思います。

研修について

谷脇さん 月に1回、全農の研修で基礎知識を学んでいます。それ以外に、地域の先輩農家さんに農業のノウハウを教えてもらうこともあります。チャレンジファームは、給料をいただきながら学べるので、ゼロから農業を始めるにはすごくいい環境だと思います。また、林さんは同世代で相談もしやすく、こういう出会いがあるのもよかったです。

府中市で農業をする魅力

林さん 農業のことは全く分かりませんでした。農

協や全農の職員の方が指導をしてくれますし、困ったときには相談ができる場所もあります。また、生産から販売まである程度モデル化されているので、販売経路も確保されています。ハウスの建設費用などへの市の補助制度もあり、就農を支える体制が整っているのは魅力だと思います。

就農への決意

林さん とにかく美味しい野菜を作りたいです。また、府中市はアスパラの産地化を目指しています。谷脇さんや、一生懸命サポートをしてくれる皆さんと連携を取りながら、産地化の力になれるよう頑張ります。

谷脇さん 就農はこれからですが、僕の姿を見て、チャレンジしようと思ってもらえるように、そしてこの地上下町に恩返しできるように頑張りたいと思っています。

「みんなで農業」で目指せ1億円

JA庄原上下営農センター管内の甲奴郡加工用野菜部会では、生産者26経営体がキャベツ、白菜を栽培しています。農業用機械の共同利用や部会員連携などの協力体制が特徴で、さまざまな挑戦で効率を高め、「稼ぐ農業」を追求しています。また、農業体験会や研修会を通じて、新規就農者を積極的に支援するなど、その取り組みは県内でも大きな注目を集めています。同部会では、今後さらなる経営の高度化を図り、業務加工野菜の出荷額1億円を目指しています。府中市は、こうした「稼ぐ農業」を実現するためのチャレンジを積極的に応援していきます。



2年連続で品質の高さが表彰されました！

主要取引先・株式会社サラダクラブに品質の高さを認められ、令和2年度には全国約400の契約産地の中から9産地が選ばれた「最優秀賞」を受賞。続く令和3年度も17産地が選ばれた「優秀賞」を受賞しました。



白菜畑

動き出した アグリビジネス

農業を核とし、食や観光と掛け合わせることで、農家の新たなチャレンジが生まれています。

気軽に農業に触れることができる体験型イベントとして、昨年10月、上下町井永で「ひろしま農場レストラン」を開催しました。当地の名産品である高原シヨウガの収穫体験やオリジナルジンジャーシロップ作り、地域の食材を使ったランチなど、子どもから大人まで楽しみながら地域の農や食を体験しました。

地域の農業や農村の魅力を高めていく取り組みとして、今年度もアスパラガスやキノコなどを使った収穫イベントを開催予定です。



農事組合法人井永 田中智文さん

大人16名、子ども5名の参加があり、参加者もスタッフも笑顔で交流の4時間でした。農場レストランを初めて実施して、現状の井永地域農業の発展余地を感じました。参加者と共にちよっとした非日常を過ごすことは刺激になるし、向上心が呼び覚まされます。地域の農業を担う集落法人としてスタッフと田舎応援団の双方を増やし、しかも収益につながることを求められると思います。地場産農作物の直売だけでなく、ミニ収穫体験イベントやとれたて食材の調理実演などにより、お客様に参加してもらいながら販売促進を図りたいものです。

地域の農産物を応援しませんか？

産直市場には、土地柄や気候を活かしたおいしさいっぱいの農産物や特産品が並びます。生産者の思いが詰まった自慢の商品を手にとってみてください。

- ▷道の駅びんご府中産直市場 府川町230-1
- ▷法界山直販センター「法界山マルシェ」上下町井永132-1



夏の野菜まつりを開催！

市内の農事組合法人などが連携し、府中市内で生産された農産物、農産加工品の直売などを行います。

とき 7月24日(日)9時～15時
ところ 道の駅びんご府中
問い合わせ先 府中市集落法人連絡協議会事務局 (市役所農林課内・☎43-7131)

固定観念にとらわれず あったらいいなにチャレンジ

上下町の池田牧場では、従来どおりの生産から販売だけではない、多分野での経営活動に取り組みられています。池田牧場の小川香奈さんに、思いを聞きました。

取り組み

教員だった祖父が始めた牧場も今年75周年。今では、民宿、カフェ、体験施設など、活動を多方面へ広げています。また、規模拡大の負担軽減のために搾乳ロボットを導入しており、県内の個人酪農家での導入はうちだけだと思います。

多角経営の必要性

日本は海外と比べて、幼少期に食育などを学ぶ機会がありません。命と食のつながりを日々の生活の中で感じてほしくてやっているのがこの多角経営です。海外との教育の差を家族単位で埋めることができるよう一般公開という形で牧場を解放し、餌やりやバター・

チーズ作りなどを体験してもらっています。実際に酪農家の姿を見てもらい、普段飲んでいる牛乳がどのように自分たちまで届いているのかイメージしやすいように手助けができたと思います。次世代の農業と食育、さらに地域の観光につながられるよう意識しています。

府中市の農業に期待すること

生産者の顔が見える加工施設などができたらいいなと思います。酪農も苦しい時代ですが、多角的な農業の使い方は無限にあると思うので、柔軟に考え、市や農業者の皆さんと一緒にブラッシュアップしながら可能性を広げていきたいです。

